旧商工会館解体工事
設計図

五所川原市 総務部 市浦総合支所
株式会社　青　和　設　計

図面リスト

A-01　取りこわし特記仕様書
A-02　案内図　配置図　平面図　仮囲詳細図
A-03　仕上表
A-04　立面図 断面図
A-05　矩形図
A-06　建具キープラン　建具表1
A-07　建具表2

S-01　基礎伏図　床伏図　基礎詳細図
S-02　小屋伏図　詳細図

E-01　取りこわし特記仕様書（電気設備）
E-02　電気設備　平面図

M-01　取りこわし特記仕様書（機械設備）
M-02　機械設備 平面図

旧商工会館解体　　工事特記仕様書

Ⅰ.工事概要

1．工事場所　五所川原市相内70番地3 地内

2．敷地面積　224.00 ㎡

3．工事種目

1）旧商工会館　木造平家建　取りこわし１棟
延べ面積　218.62㎡（電気設備、機械設備共）

2）外構
①樹木　伐採・抜根一式
②整地　一式
③機械設備（屋外）　一式
（別仕様書による）

4.指定部分　・有　対象部分（　　）
指定部分工期　　年　　月　　日
⊙無

5.工事範囲　すべての躯体（捨てコンクリートまでとし、砂利地業は除く）及び仕上げ材すべてとする。

Ⅱ.解体工事仕様

（１）図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書（令和４年版）」（以下「解体仕様書」という。）による。
図面、本特記仕様書及び解体仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和７年版」（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和７年版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

（２）本特記仕様書の表記
１）項目は、⊙印の付いたものを適用する。
２）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。
３）特記事項に記載の 《 . . 》内表示番号は、解体仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
４）特記事項に記載の（ . . ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
５）特記事項に記載の［ . . ］内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項
1 各章共通事項	⊙適用基準	本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。 建築工事標準詳細図（令和４年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課
	⊙石綿含有建材の調査	※石綿含有建材の事前調査　《1.4.1》 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。 調査範囲（※施工範囲全て　・図示　　） 貸与資料（⊙アスベスト事前調査報告書　・既存図面） ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法 材料名 / 定性分析方法（JIS A 1481-1または JIS A 1481-2）/ 定量分析方法（JIS A 1481-3または JIS A 1481-4） ・　箇所 / ・　箇所 ・　箇所 / ・　箇所 ・　箇所 / ・　箇所 サンプル数　１箇所あたり３サンプル 採取箇所　・図示　・
	⊙産業廃棄物広域認定制度	産業廃棄物広域認定制度により廃棄物を処理する場合は、事前に監督員と協議すること。
	※　解体工事施工技士	解体工事を適切に管理するため、解体工事施工技士を1名以上現場に配置すること。
2 仮設工事	⊙騒音・粉じん	騒音・粉じん等の対策　《2.2.1》 ・防音パネル　・防音シート　⊙養生シート　・ 設置範囲及び高さ ・図示（　／　図による）　・
	⊙足場等	(2.2.4) 「「手すり先行工法等に関するガイドライン」について」（厚生労働省　令和5年12月26日）の「（別紙）手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における２の（１）手すり据置き方式又は（２）手すり先行専用足場方式により行う。
	・山留めの撤去	《2.4.3》 鋼矢板等の抜き後の処理　・ ※直ちに砂等で充填する
3 解体施工	・杭の解体	杭　《3.9.2》 ・行う　・行わない 杭の解体工法 ・引抜き工法　・粉砕による解体
	・工作物（建築物以外）	さく、照明設備等の附属物の解体　《3.10.1》 ・行う（　／　図による）
	⊙樹木等	樹木の伐採抜根及び移植　《3.11.1》 ・行う（ A ／ 02 図による）
	⊙地下埋設物 埋設配管	地下埋設物及び埋設配管の解体　《3.12.1》 ⊙行う（　設備　図による）
	⊙解体後の整地	解体後の埋戻し及び盛土　《3.13.1》 ⊙行う　・行わない 整地高さ ・現状ＧＬ　⊙図示（ A ／ 02 図による） 埋戻し及び盛土の材料 ⊙山砂の類　表層　砕石敷き ・他現場の建設発生土の中の良質土 ・再生コンクリート砂 埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。 解体後の地均し ・基礎部分等の撤去範囲の地均しを行う ⊙敷地全体の地均しを行う ・敷地の地均しを行わない
	・PCB含有シーリング材の撤去方法	※「標準施工要領書(日本シーリング工事業協同組合連合会/日本シーリング材工業会)」による。 （撤去範囲　※ 図示　・　）
5 特別管理産業廃棄物の処理	・施工計画調査	《5.1.2》 材料名 / 厚さ(mm) / 調査を行う範囲 ※図示　・工事対象範囲 ※図示　・工事対象範囲 ※図示　・工事対象範囲 ※図示　・工事対象範囲
6 石綿含有建材の除去及び処理	・石綿粉じん濃度測定	測定時期、場所及び測定点　《6.1.3》 適用 / 測定名称 / 測定時期 / 測定場所 / 測定箇所数（各施工箇所ごと） ・ 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・計　点 ・ 測定2 調査対象室外部の付近 ・計　点 ・ 測定3 処理作業中 処理作業室内 ・計　点 ・ 測定4 セキュリティゾーン入口 ・計　点 ・ 測定5 集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合） 出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・計　点 ・ 測定6 処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界 ・計　点 ・ 測定7 処理作業後（シート養生中） 処理作業室内 ・計　点 ・ 測定8 処理作業後シート撤去後 処理作業室内 ・計　点 ・ 測定9 1週間以降 調査対象室外部の付近 ・計　点 測定方法 ・自動測定器による測定 測定名称 / 測定方法 ・測定4 ・測定5 / 粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 ・JIS K 3850-1に基づいた測定 測定名称 / メンブレンフィルタ直径(mm) / 試料の吸引流量(L/min) / 試料の吸引時間(min) ・測定4 ・測定5 / 25 / 5 / 30 ・測定・ / 25 / 10 / 120 ・測定・ / 47 / 10 / 240 ・測定・ / / /
	・石綿含有吹付け材の除去	除去対象範囲　・図示　・　《6.3.2、3》 工法　・　※6.3.2(1) 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化　・固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
	・石綿含有保温材等の除去	除去対象範囲　・図示　・　《6.4.1》 工法　・破砕して除去　・原型のまま手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※湿潤化　・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
	⊙石綿含有成形板の除去	除去対象範囲　・図示　《6.5.1》 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有せっこうボード ※埋立処分（管理型最終処分場） ⊙石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ⊙埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） 作業場所周辺養生 ⊙行う　・行わない
	・石綿含有仕上塗材の除去	除去対象範囲　・図示　・　《6.6.1》 工法　・集じん装置付き超高圧水洗工法（100Mpa以上） ・湿式集じん装置付きディスクグラインダー工法 ・乾式集じん装置付きディスクグラインダー工法 ・剥離剤（薬品）工法 ・超音波ケレン工法 ・ 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・埋立部分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
	・石綿含有の設備資機材の除去	石綿含有の設備資機材の処理については、取りこわし特記仕様書（電気設備の部）及び（機械設備の部）による。
7 その他	⊙建設副産物の処理	取りこわしにより発生する建設副産物は、以下の施設での受入れとして積算している。 ⊙ 特定建設資材廃棄物 名称 / 施設名称 / 施設所在地 / 備考 コンクリート塊 / (有)晃新 / つがる市木造館岡上沢辺29-176 アスファルト、コンクリート塊 / (有)晃新 / 同上 建設発生木材 / 大矢建設工業(株) / 青森市大字野沢字川部1-1 ⊙ 最終処分する建設廃棄物 名称 / 施設名称 / 施設所在地 / 備考 繊維・グラスウール / (株)協同開発鋪装 / つがる市木造館岡上沢辺143-4 金属 / (株)東建興業 いわきリサイクルプラント / 弘前市大字五代字従来沢1024-2 廃プラスチック / (株)竹内組 / つがる市稲垣町繁田字袋井114-2 ガラス・陶磁器 / 青森産業廃棄物処理事業協同組合 / 青森市大字鶴ヶ坂字田川77-218, 71-202 廃蛍光灯 / (株)青森クリーン / 青森市浪岡大字郷才字山本105-59 ⊙ 処理に注意を要する建設廃棄物 名称 / 施設名称 / 施設所在地 / 備考 CCA処理木材 ひ素・カドミウム含有石膏ボード 石膏ボードの処理 / (株)竹内組 / つがる市稲垣町繁田字袋井114-2 ・ 特別管理産業廃棄物 名称 / 施設名称 / 施設所在地 / 備考 廃油 廃酸 廃アルカリ ダイオキシン含有廃棄物 ⊙ アスベスト含有建材 名称 / 施設名称 / 施設所在地 / 備考 けい酸カルシウム板 / (株)青森クリーン / 青森市浪岡大字郷才字山本105-59 ・ 特殊な建築副産物 名称 / 施設名称 / 施設所在地 / 備考

No.　25202
DATE　R08. 5.25

旧商工会館解体工事　設計図　DR. NO.　A-01
取りこわし特記仕様書　SCALE

株式会社　青和設計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号
1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号
管理建築士　舘山良子

案　内　図

工事概要

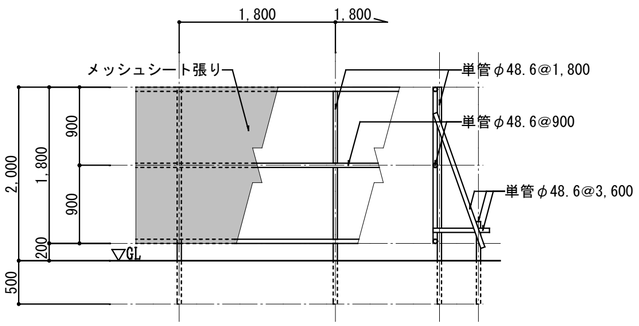
1. 解体範囲
　1）旧商工会館　　木造平家建て： 218.62㎡
　　a　樹木　　伐採・伐根　一式

　1）に付帯する電気設備及び機械設備撤去一式及び切廻し工事

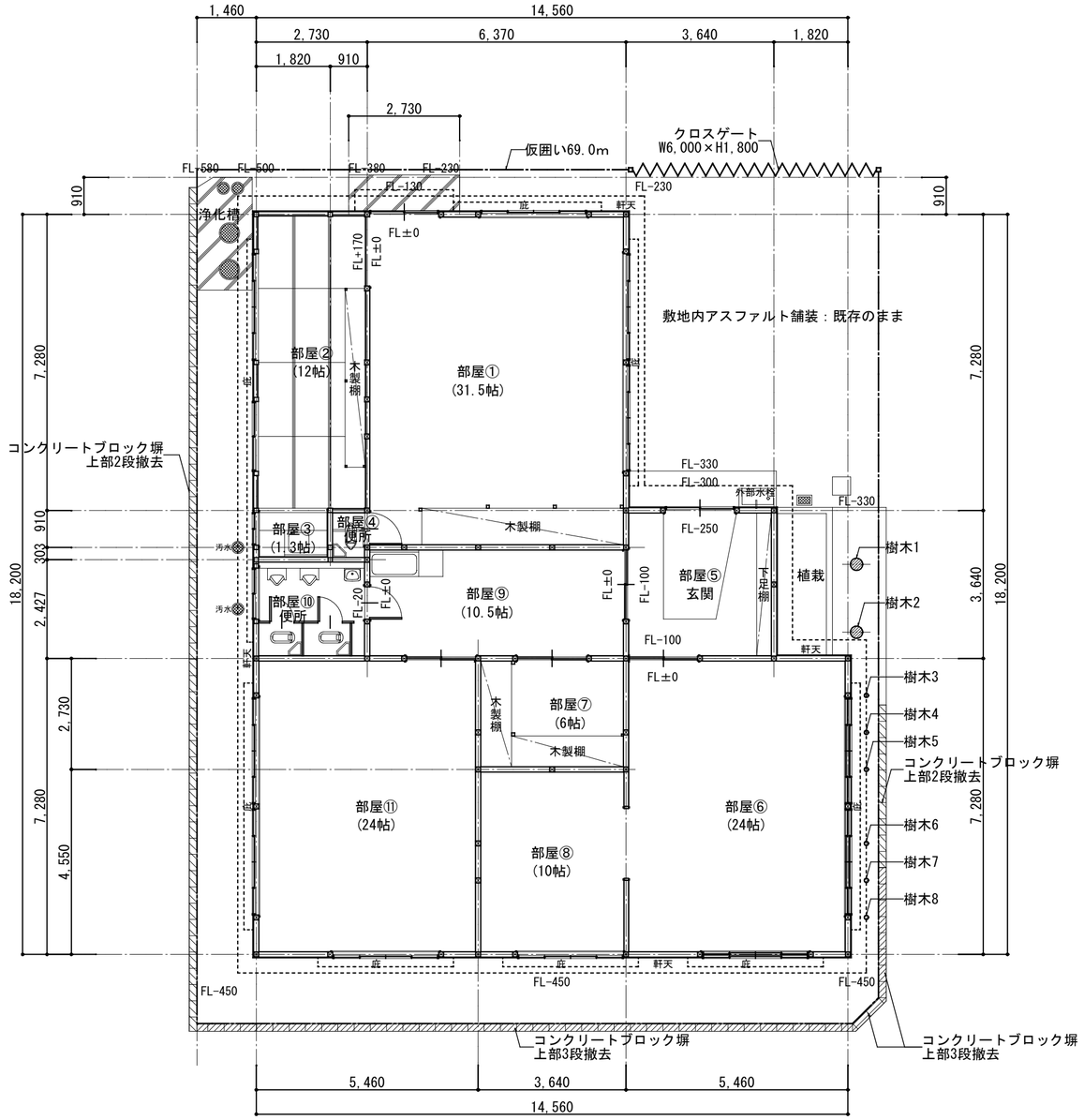
　2）解体撤去後、砕石にて整地
　※上記建物内等に残存する備品等も撤去処分する事。

2. アスベスト含有建材の処理
　・下記に示す仕上材は、アスベスト含有仕上材とし、適切に撤去・処分する事。
　1）軒天材（ケイ酸カルシウム板）
　2）内装壁材（ケイ酸カルシウム板）

3. 仮設計画
　・仮設計画作成においては、発注者、監督員等と協議を行い決定する事。



仮囲（メッシュシート）詳細図　1/50



配置図　平面図　　1/100

樹木　伐採・伐根		
記号	幹径	高さ
樹木1	300φ	4.5m
樹木2	300φ	4.5m
樹木3	100φ	0.6m
樹木4	100φ	0.6m
樹木5	100φ	0.6m
樹木6	100φ	0.6m
樹木7	100φ	0.6m
樹木8	100φ	0.6m

No.　25202	旧商工会館　解体工事　　設 計 図　DR. NO.　A-02
DATE　R08.03.13	案内図　配置図　平面図　仮囲詳細図　　SCALE (A2) 1/100　1/50　1/20
	商 . 案 .
	株式会社　青 和 設 計　　1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号 1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号
	青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)　管理建築士　舘 山 良 子

外部仕上表

屋根	長尺着色亜鉛鉄板t=0.4瓦棒葺き　アスファルトルーフィング940　野地板t=12下地　木小屋組み		
軒天・庇	※1けい酸カルシウム板t=6張り		
外壁	リシン吹付　モルタルt=15　メタルラス　アスファルトフェルト430　下地板t=9.0　　樹脂製換気フード		
開口部	アルミサッシ　アルミ框戸　周囲シーリング		
基礎	基礎立上り：モルタル金ごて仕上　床下換気口：鋼製300×150		
ポーチ	ポーチ：モルタルt=30金ごて仕上		

内部仕上表

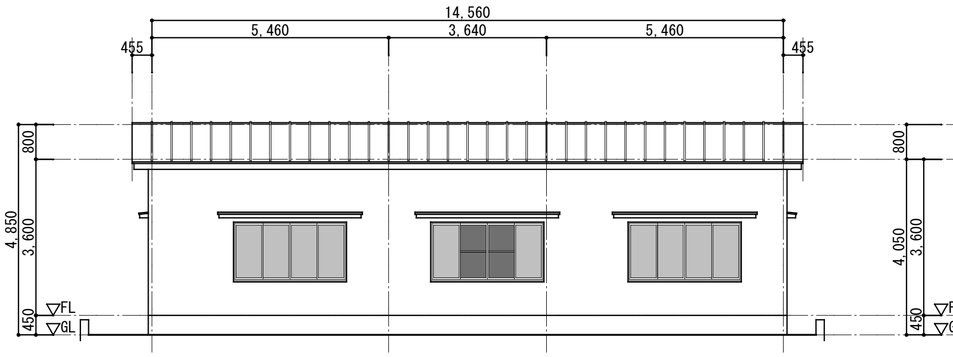
階	室名	床	巾木	H	壁	天井	H	備考
1	部屋① (31.5帖)	防塵塗料　コンクリート直均し仕上	木製	100	腰壁（H=2,000）：化粧合板t=5.5張り ビニル壁紙張り　石こうボードt=12.5下地	化粧石こうボードt=9.5張り　木組天井下地	3,000	木製棚(2段)W5,000×D900×H1,800
	部屋② (12帖)	たたみ敷きt=55　構造用合板t=12下地 木床組み	たたみ寄せ		ジュラク壁　石こうボードt=12.5下地	杉柾化粧合板t=5.5目透かし張り　木組天井下地 一部化粧石こうボードt=9.5張り　木組天井下地	2,400	木製棚(3段)W4,500×D500×H1,7[illegible]突メガネ石
	部屋③ (1.3帖)	ビニル床タイルt=2.0張り　構造用合板t=12下地 木床組み	木製	100	腰壁（H=800）：磁器質壁タイル100角張り 石こうボードt=12.5下地 ビニル壁紙張り　石こうボードt=12.5下地	化粧石こうボードt=9.5張り　木組天井下地	2,400	流し台W1,050×D550×H800　ガス台W600×D550×H600
	部屋④ 便所	ビニル床シートt=2.0張り コンクリート直均し下地 一部構造用合板t=12下地　木床組み	木製	50	化粧合板t=5.5張り	化粧石こうボードt=9.5張り　木組天井下地	2,600 ～ 2,300	
	部屋⑤ 玄関	防塵塗料　コンクリート直均し仕上 一部モルタルt=30金ごて仕上	モルタル 木製	150 100	腰壁（H=2,000）：化粧合板t=5.5張り ビニル壁紙張り　石こうボードt=12.5下地	化粧石こうボードt=9.5張り　木組天井下地	2,700 ～ 2,550	下足棚(5段)W3,500×D360×H2,000
	部屋⑥ (24帖)	ビニル床シートt=2.0張り コンクリート直均し下地	木製	100	しな合板t=5.5張りEP 一部：化粧合板t=5.5張り	化粧石こうボードt=9.5張り　木組天井下地	3,000	
	部屋⑦ (6帖)	防塵塗料　コンクリート直均し仕上	木製	100	腰壁（H=2,000）：化粧合板t=5.5張り ビニル壁紙張り　石こうボードt=12.5下地	化粧石こうボードt=9.5張り　木組天井下地	3,000	木製棚(2段)W2,600×D760×H3,000＋W2,740×D760×H2,100
	部屋⑧ (10帖)	ビニル床シートt=2.0張り コンクリート直均し下地	木製	100	しな合板t=5.5張りEP 一部：化粧合板t=5.5張り	化粧石こうボードt=9.5張り　木組天井下地	3,000	
	部屋⑨ (10.5帖)	防塵塗料　コンクリート直均し仕上	木製	100	腰壁（H=1,900）：化粧合板t=5.5張り ビニル壁紙張り　石こうボードt=12.5下地 一部：化粧合板t=5.5張り	化粧石こうボードt=9.5張り　木組天井下地	3,000	流し台W1,200×D550×H800　ガス台W600×D550×H600　木製台座W600×D550×H200
	部屋⑩ 便所	ビニル床シートt=2.0張り コンクリート直均し下地	木製	100	腰壁（H=1,200）：化粧合板t=5.5張り ※1けい酸カルシウム板t=6張り	化粧石こうボードt=9.5張り　木組天井下地	2,400	
	部屋⑪ (24帖)	防塵塗料　コンクリート直均し仕上	木製	100	腰壁（H=1,900）：化粧合板t=5.5張り 石こうボードt=12.5張り	化粧石こうボードt=9.5張り　木組天井下地	3,000	

特記		材料認定番号	凡例
※１：アスベスト含有材　レベル３で処理			

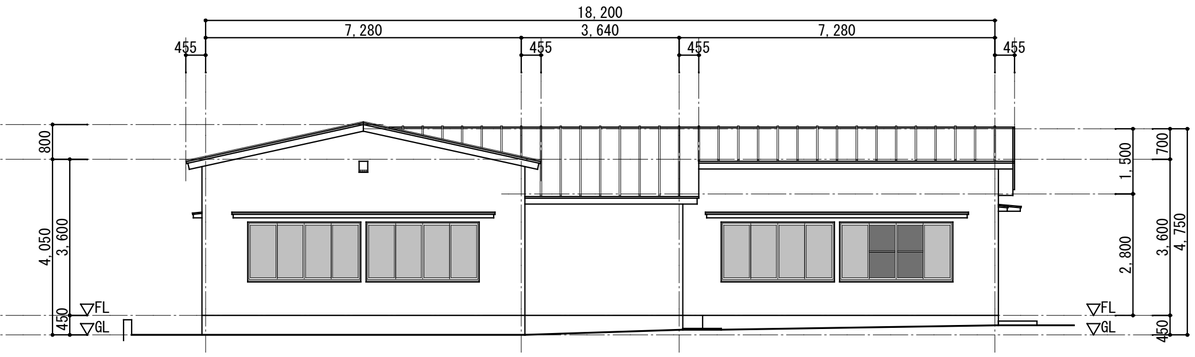
No. 25202
DATE R08.03.13

旧商工会館　解体工事　　設計図 DR.NO. A-03
仕上表　　SCALE

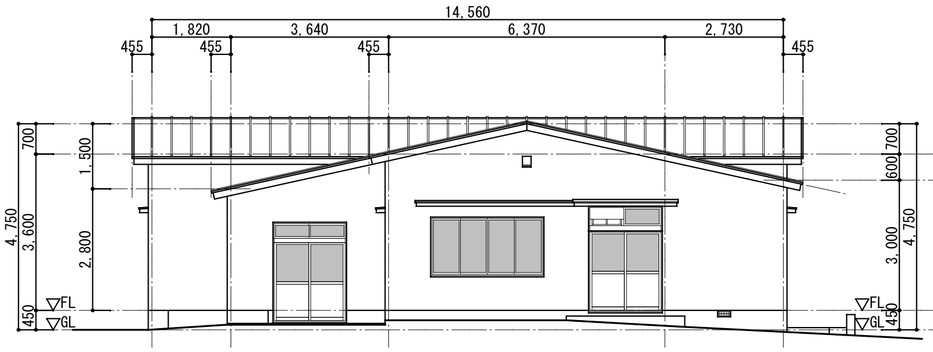
株式会社　青和設計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号
1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号
管理建築士　舘山良子



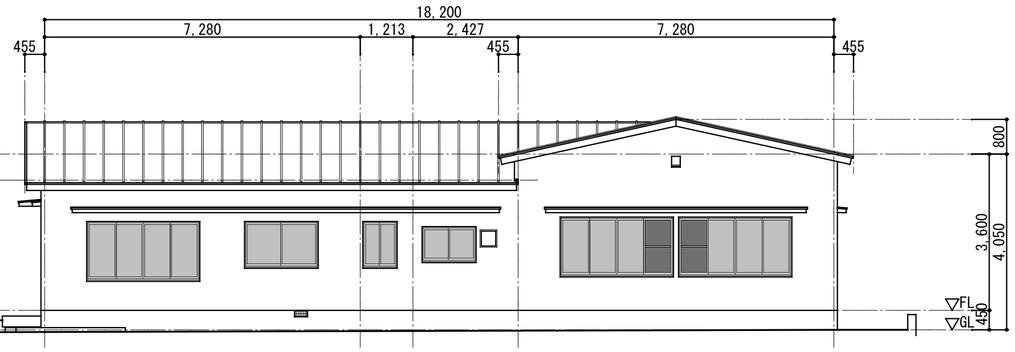
南側立面図　1/100



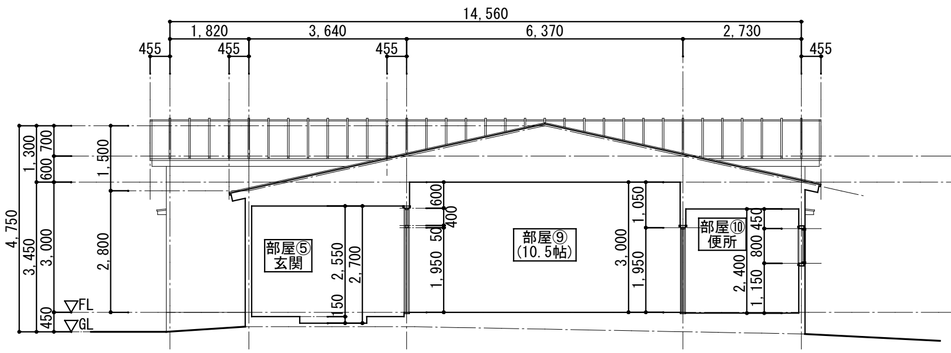
東側立面図　1/100



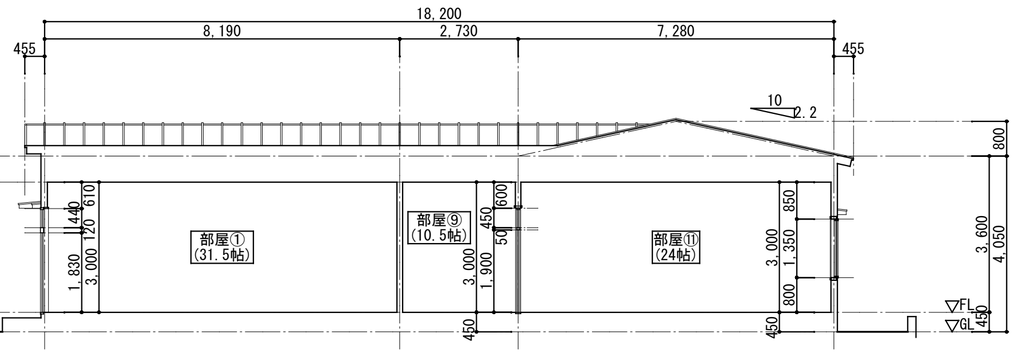
北側立面図　1/100



西側立面図　1/100



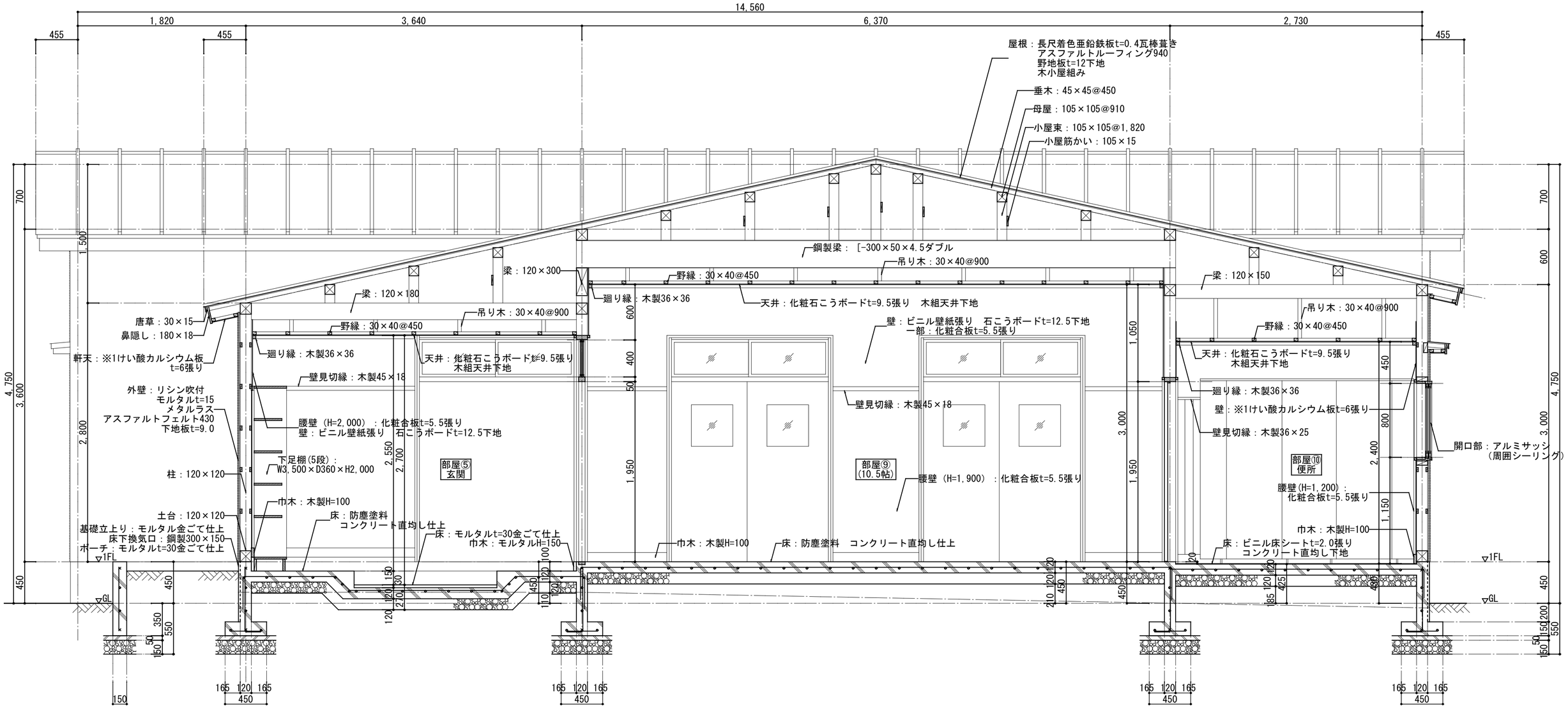
断面図・1　1/100



断面図・2　1/100

No. 25202	旧商工会館　解体工事　　設計図 DR. NO. A-04
DATE R08.03.13	立面図　断面図　　SCALE (A2) 1/100

株式会社　青和設計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号
1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号
管理建築士　舘山良子

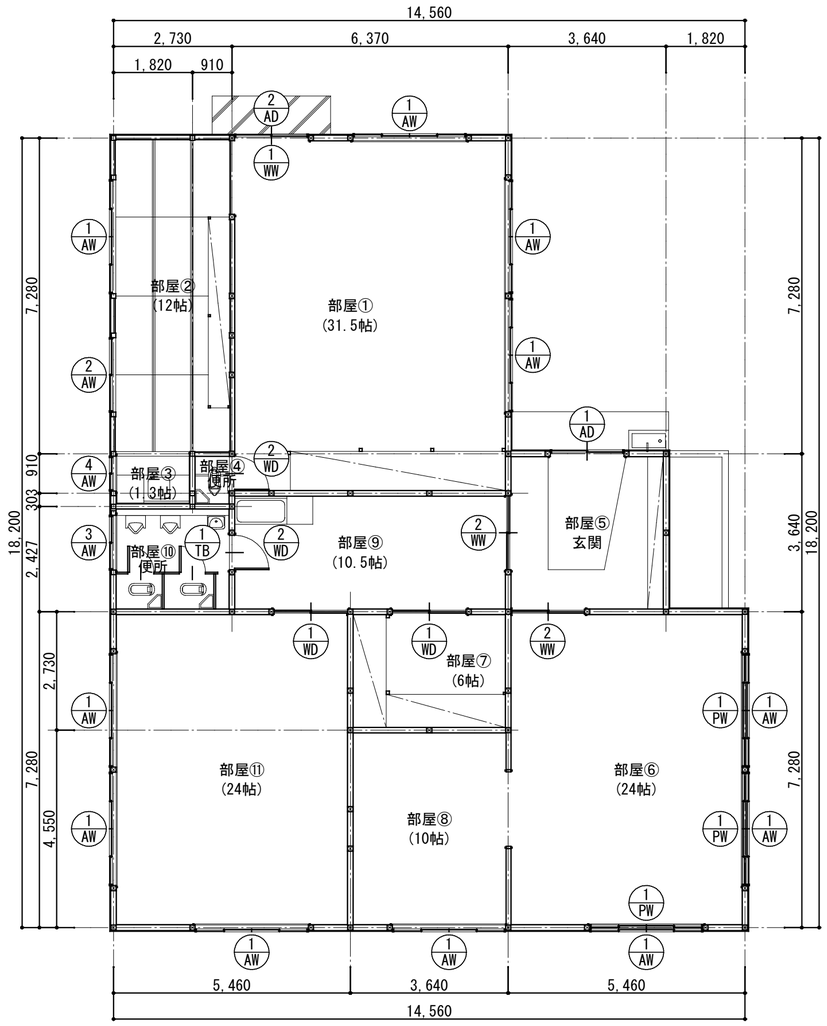


矩形図	1/30

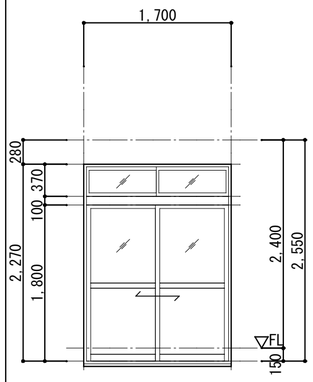
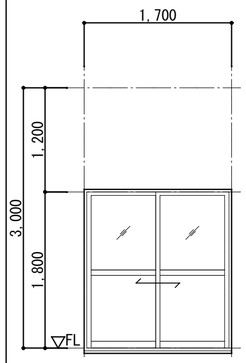
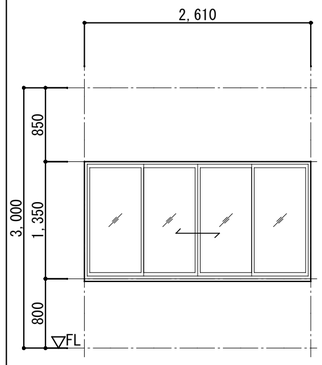
※1：アスベスト含有材　レベル3で処理

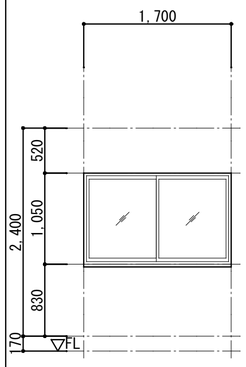
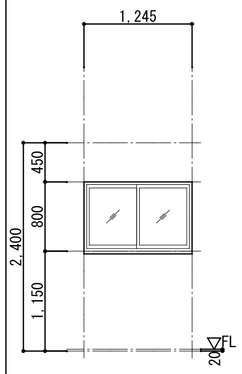
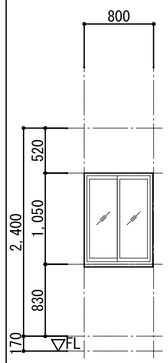
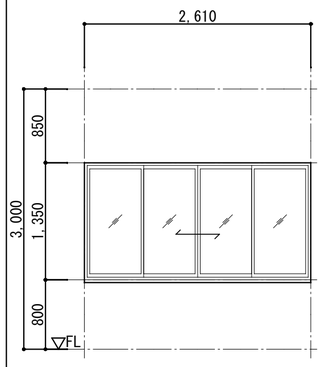
No. 25202	旧商工会館　解体工事　　設計図 DR. NO. A-05
DATE R08.03.13	矩形図　　SCALE (A2) 1/30

株式会社　青和設計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号
1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号
管理建築士　舘山良子



建具キープラン　1/100

符号	1/AD	2/AD	1/AW
形状			
使用ヶ所	部屋⑤玄関	部屋①(31.5帖)	部屋①(31.5帖)、部屋②(12帖)、部屋⑥(24帖)、部屋⑧(10帖)、部屋⑪(24帖)
個所数	1	1	11
型式	引き違い欄間付引き違い框戸	引き違い框戸	引き違い窓
見込寸法・材質	70　アルミ製	70　アルミ製	70　アルミ製
硝子・仕上	欄間：フロート板ガラスt=3.0　他：フロート板ガラスt=5.0 腰：アルミフラットパネルt=2.0　無着色	型板ガラスt=4.0 腰：アルミフラットパネルt=2.0　白色	フロート板ガラスt=5.0　無着色
建具金物	引き違い用シリンダー錠	引き違い用シリンダー錠	クレセント　他付属金物一式
	他付属金物一式	他付属金物一式	
備考			アルミ網戸（6枚）

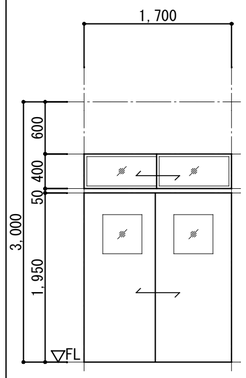
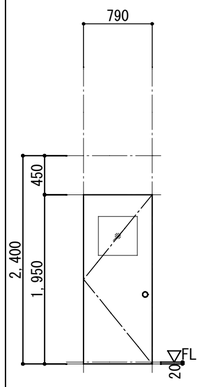
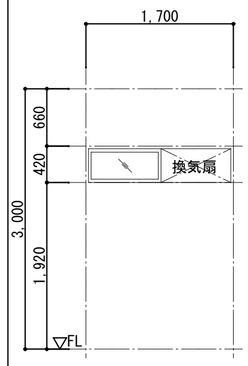
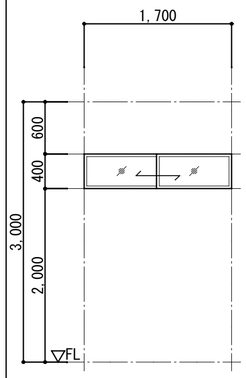
符号	2/AW	3/AW	4/AW	1/PW
形状				
使用ヶ所	部屋②(12帖)	部屋⑩便所	部屋②(12帖)	部屋⑥(24帖)
個所数	1	1	1	3
型式	引き違い窓	引き違い窓	引き違い窓	引き違い窓
見込寸法・材質	70　アルミ製	70　アルミ製	70　アルミ製	70　樹脂製
硝子・仕上	フロート板ガラスt=5.0　無着色	フロート板ガラスt=5.0　無着色	フロート板ガラスt=5.0　無着色	フロート板ガラスt=5.0　無着色
建具金物	クレセント　他付属金物一式	クレセント　他付属金物一式	クレセント　他付属金物一式	クレセント　他付属金物一式
備考				

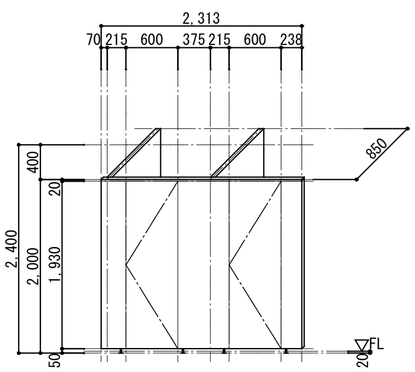
No.	25202
DATE	R08.03.13

旧商工会館　解体工事　　設計図 DR. NO. A-06

建具キープラン　建具表1　　SCALE (A2) 1/100　1/50

株式会社　青和設計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号
1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号
管理建築士　舘山良子

符　号	1/WD	2/WD	1/WW	2/WW	
形　状					
使用ヶ所	部屋⑦(6帖)、部屋⑪(24帖)	部屋④便所、部屋⑩便所	部屋①(31.5帖)	部屋⑥(24帖)、部屋⑨(10.5帖)	
個 所 数	2	2	1	2	
型　式	引き違い欄間付額入り引き違いフラッシュ戸	額入り片開きフラッシュ戸	嵌め殺し欄間	引き違い欄間	
見込寸法 ・ 材質	36　木製	36　木製	18　木製	36　木製	
硝子 ・ 仕上	フロート板ガラスt=3.0　しな合板フラッシュ　SOP	型板ガラスt=4.0　しな合板フラッシュ　SOP	フロート板ガラスt=3.0	フロート板ガラスt=3.0	
建具金物	引き手　戸車　他付属金物一式	握玉　丁番	付属金物一式	付属金物一式	
		他付属金物一式			
備　考	敷居レール				

符　号	1/TB	
形　状		
使用ヶ所	部屋⑩便所	
個 所 数	1	
型　式	トイレブース（既製品）	
見込寸法 ・ 材質	40　木製	
硝子 ・ 仕上	すり板ガラスt=4.0　メラミン化粧合板フラッシュ	
建具金物	ラバトリーヒンジ　握り玉表示錠　ステンレス支持金物	
	他付属金物一式	
備　考		

No.　25202	旧商工会館　解体工事　設 計 図　DR. NO. A-07
DATE　R08.03.13	建具表2　SCALE (A2)1/50
	館.案.
	株式会社　青 和 設 計　1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号 1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)　管理建築士　館 山 良 子

旧商工会館　解体工事
取りこわし特記仕様書（電気設備）

Ⅰ．工事概要

１．工事場所　　取りこわし特記仕様書（建築工事）による。

２．敷地面積　　取りこわし特記仕様書（建築工事）による。

３．工事種目　　１）旧商工会館　　電気設備　　取りこわし一式

Ⅱ．工事仕様

１．共通仕様

取りこわし特記仕様書（建築工事）による。

２．特記仕様　（●印のものを適用し、○印のものは適用しない）

（１）一般共通事項

● 発生材の種類、処理等は現場説明書による。

● 分析調査

● 有り

○ 微量ＰＣＢ含有調査　（　　）

● アスベスト含有調査　（　　）

○

○ 無し　（解体共通仕様書による「施工調査」の結果、分析調査の必要が生じた場合は監督職員と協議すること。）

（２）取りこわし内容

● 図示された機器類、配管配線、ケーブルの解体を行う。（地下埋設物、埋設配管を含む）

● 下記の廃棄物等及び機器類は内外装材の解体前に取外し又は回収する。
これ以外の配管配線、機器類はコンクリート及び内外装材と同時に解体してよい。

１）廃棄物等　（「施工調査」の結果、●印以外の廃棄物等が確認された場合は監督職員と協議すること。）

再資源化を図るもの

○ 小型二次電池

● 蛍光ランプ及びＨＩＤランプ（水銀リサイクル共）

○

特別管理産業廃棄物

○ アスベスト含有材　（ ○　　）

○ ＰＣＢ含有機器　（ ○蛍光灯安定器　○変圧器　○　　）

○ 廃油　（ ○　　）

○ 廃アルカリ　（ ○アルカリ蓄電池　○　　）

特殊な建設副産物

○ イオン化式感知器

○ 六ふっ化硫黄（SF6）ガス　（ ○ガス絶縁開閉器　○　　）

２）機器類

○ 受変電盤

○ 直流電源装置

○ 発電装置

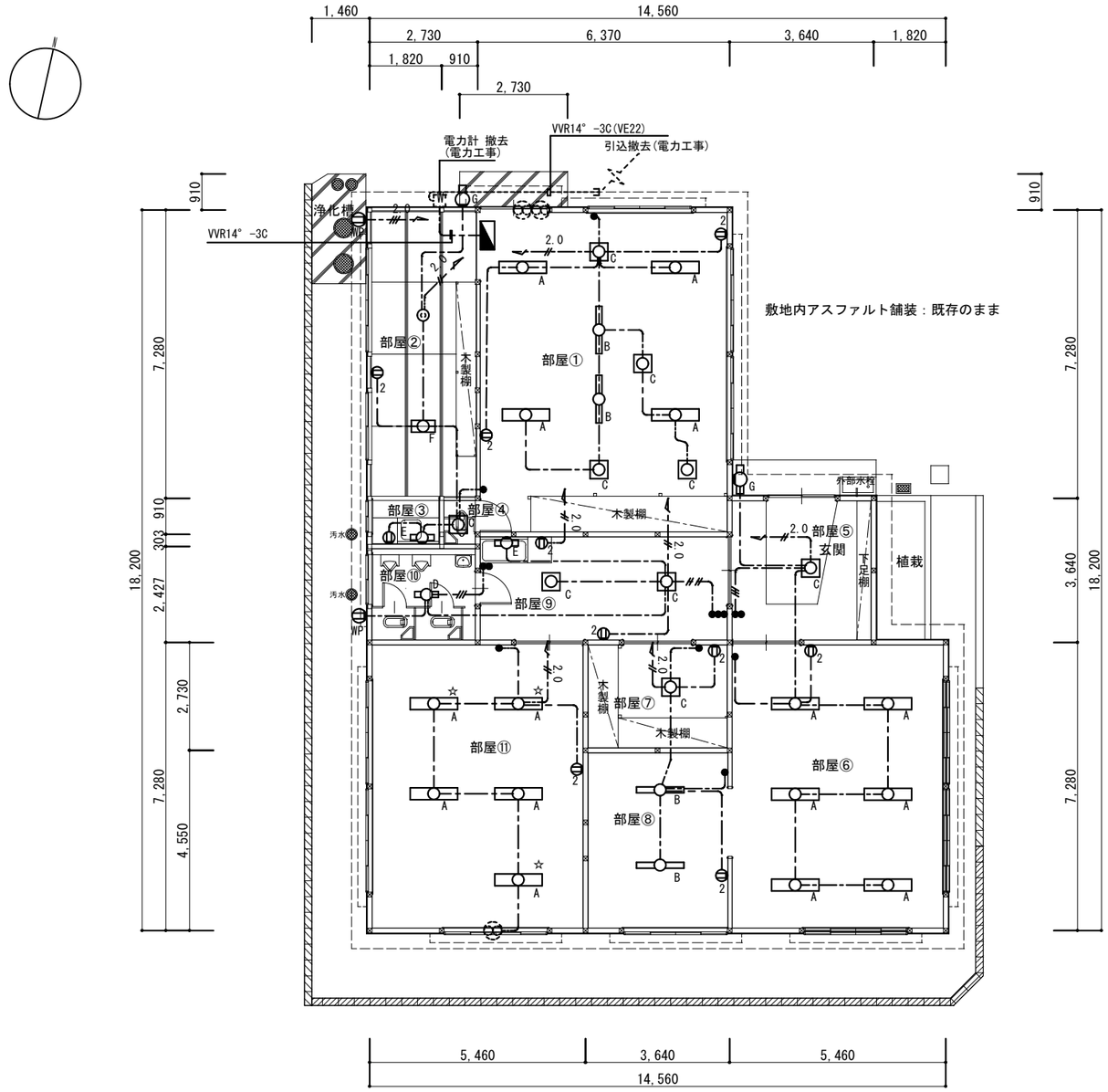
○

No.	25202
DATE	R08.05.25

旧商工会館　解体工事　　設 計 図　DR. NO.　E-01

取りこわし特記仕様書（電気設備）　　SCALE

株式会社　青　和　設　計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号
1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号
管理建築士　舘　山　良　子



配置図　平面図　　1/100

図中の照明器具記号は下記による

図中記号	撤去照明(改修前) 照明器具タイプ	備考
A	FL40W×2	鋼板製 V型
B	FL40W×1	鋼板製 V型
C	FCL30W×1	シーリングライト 角型
D	FL20W×1	鋼板製 V型
E	FL20W×1	棚下灯
F	FL20W×2	鋼板製 V型
G	FL15W×1	鋼板製 ブラケット

☆付きの照明器具は電球または蛍光管が無い物を示す。

機器凡例

図記号	名　　称
	ホーム分電盤 主幹 ELB50AF+8回線
●	埋込スイッチ　1P15A×1 樹脂P
●●	埋込スイッチ　1P15A×2 樹脂P
●●●	埋込スイッチ　1P15A×3 樹脂P
⊕	埋込コンセント 2P15A×1(連用形) 樹脂P
⊕2	埋込コンセント 2P15A×2(連用形) 樹脂P
⊕WP	防水コンセント 2P15A×2
⊙	引掛シーリング
⊗	壁付換気扇(機械設備工事)

配管・配線凡例

注　記
1.特記無き配線配管は、下記による。
2.0 VVF 2.0-2C
2.0 VVF 2.0-3C
VVF 1.6-2C
VVF 1.6-3C
VVF 1.6-2C×2
施工凡例
天井フトコロ配線
露出配線

No.　25202	旧商工会館　解体工事　　設 計 図 DR. NO. E-02
DATE　R08. 05. 25	電気設備　平面図　　SCALE (A2) 1/100

株式会社　青　和　設　計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号
1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号
管理建築士　舘　山　良　子

旧商工会館　解体工事　特記仕様書（機械設備）

Ⅰ、工事概要

１，工事場所　　建築工事　特記仕様書による。

２，敷地面積　　建築工事　特記仕様書による。

３，建物概要

建物名称	構　造	階　数	建築基準法による延べ面積（㎡）	区　分	備　考
旧商工会館	木造	平家建	218.62	取りこわし１棟	

４，工事種目　　旧商工会館　機械設備　取りこわし一式

Ⅱ、工事仕様

１，共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書（令和４年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）により、解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和４年版）」（以下「改修工事標準仕様書」という。）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課制定の「公共建築設備標準図（機械設備工事編）令和４年版）」（以下「標準図」という。）による

２，特記仕様

（１）一般共通事項　（●印のものを適用する。）

●官公署への手続き等　　工事の着手、施工にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な手続き等を遅延なく行う。

○　貯油槽	廃止届けとする。	○　ボイラー	廃止届けとする。
●　給水装置	廃止届けとする。	○　浄化槽	廃止届けとする。
○　排水設備	廃止届けとする。	○　昇降機	廃止届けとする。
○　都市ガス設備	廃止届けとする。		

○廃酸・廃アルカリ処理　　吸収冷凍機、吸収冷温水機等の撤去前に臭化リチウム水溶液の抜き取りを行う。ただし、抜き取り費用は（○本工事　○別途）とする。

○ダイオキシン類調査　　焼却炉等の撤去前に残灰よりサンプリング調査を行い、監督職員に報告する。ただし、サンプリング費用は（○本工事　○別途）とする。

○廃油処理　　オイルタンク、サービスタンク、油配管等は撤去前に内部清掃を行う。ただし、内部清掃、洗浄油の回収費用は（○本工事　○別途）とする。

○冷媒（フロン類）の回収　　冷凍機、パッケージ形空気調和機等の撤去に伴う冷媒回収方法は、改修標準仕様書第３編２．４．３により適切に行うこと。
ただし、家電リサイクル対象機器は除く。　冷媒回収の費用は（○本工事　○別途）とする。

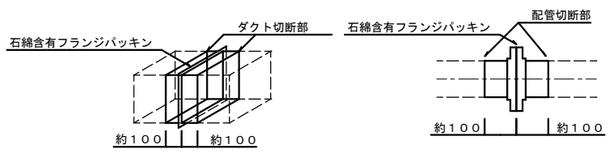
○家電リサイクル　　対象機器は、　　とする。なお、冷媒回収はポンプダウン方式とする。（リサイクル料金は本工事とする。）

●汚泥・汚水処理　　浄化槽及び排水槽内は汚泥・汚水を汲み取り、内部清掃を行う。ただし、汚泥・汚水・清掃洗浄水の回収費は（●本工事　○別途）とする。

○アスベスト含有製品処理　　○　本工事

ダクト及び配管のフランジパッキン及び配管エルボ・チーズ部の保温材の処理方法は以下による。
撤去するフランジ部、エルボ・チーズ部に含まれる石綿を処分するため、フランジ、エルボ・チーズの
前後を切断し、他のダクト・配管とは別に廃棄を行う。

フランジ部撤去参考詳細図



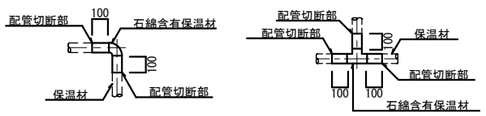
１．切断にあたり飛散防止処置として、フランジ部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼りを行う。
２．フランジ部両側約１００mmの箇所において慎重に切断する。
３．片側の切断終了後、フランジ部内部を外面同様、飛散防止処置として飛散抑制剤の塗布又は
　　テープ貼を行い、もう片側の切断を行う。
４．切断したフランジ付ダクトは、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。

石綿含有設備資材撤去リスト

種　類	箇所	備　考（ダクト板厚）
配管フランジ部		
配管エルボ部		

※　ダクト及び配管フランジ部、配管エルボ部の撤去に先立ち、
　　フランジ部は１箇所につき２箇所、エルボ部は１箇所につき３箇所切断する。

配管エルボ・チーズ部撤去参考詳細図



１．切断にあたり飛散防止処置として、保温材部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行う。
２．保温材部両側約１００mmの箇所において慎重に切断する。
３．切断した保温付配管は、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。

●　配管種別（既設配管）

	配管種別	配　管　材　料
空気調和	○　冷温水、冷却水	○　配管用炭素鋼鋼管（白）　○　ポリエチレン管
	○　ドレン管	○　硬質塩化ビニル管（VP）　○　配管用炭素鋼鋼管（白）
	○　油	○　配管用炭素鋼鋼管（黒）
	○　蒸気	○　配管用炭素鋼鋼管（黒）　○　圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）
	○　冷媒管	○　冷媒用被覆銅管
給水	●　屋内給水管	○　水道用亜鉛メッキ鋼管　●　塩ビライニング鋼管　○　ポリエチレン粉体ライニング鋼管
	●　屋外給水管	○　水道用硬質塩化ビニル管（VW）　●　ポリエチレン管　○　塩ビライニング鋼管（VD）
給湯	○　給湯管	○　配管用炭素鋼鋼管（白）　○　銅管　○　耐熱性塩ビライニング鋼管（SGP-HVA）
排水	●　汚水管	○　排水用鋳鉄管　○　塩ビラインニング鋼管　○　鉛管　●　ビニル管（VP）
	●　雑排水管	○　配管用炭素鋼鋼管（白）　●　ビニル管（VP）
	●　通気管	○　配管用炭素鋼鋼管（白）　●　ビニル管（VP）
	●　屋外排水管	○　コンクリート管　●　ビニル管（VP）
ガス	○　屋内ガス管	○　配管用炭素鋼鋼管（白）
	○　屋外ガス管	○　ガス用ポリエチレン管　○　配管用炭素鋼鋼管（白）

○　ダクト種別　○　亜鉛鉄板　○　鋼板製　○　スパイラル　○　塩ビ
●　保温種別　　○　ロックウール保温材　●　グラスウール保温材　○　ポリスチレンフォーム保温材　○　化粧ケース（樹脂製）
●　衛生器具　　●　陶器製　　○　ＳＵＳ製

Ⅲ．取りこわし内容

（１）共通

●　図示された、機器・ダクト・配管の取りこわしを行う。
●　コンクリート埋設部及び土間部の配管は建物と一体に取りこわしてもよい。
●　ダクト付属品・配管付属品は、ダクト・配管と一体で取りこわしてよい。

○　オイルタンク　　○　オイルタンク本体は、掘り起こし撤去とする。
　　○　オイルタンクの用途廃止に係る安全管理指針に基づき撤去する。
　　○　オイルタンク掘り起こし後は、現場発生土にて埋め戻しとする。
●　浄化槽　　○　浄化槽掘り起こしに伴う掘削工法は、法付け工法とする。
　　●　浄化槽掘り起こし後は、現場発生土にて埋め戻しとする。
●　屋外設備　　●　配管土工事は本工事とし、掘り起こし後は現場発生土で埋め戻しとする。
　　●　屋外給水配管の埋設深さは６００Ｈとする。
　　○　屋外ガス配管の埋設深さは６００Ｈとする。
●　桝掘り起こし後は現場発生土で埋め戻しとする。

●　給水装置	●　本管にて閉栓とする。	○　敷地内第１弁を閉としプラグ止めの上、埋設標示杭設置とする。
○　排水設備	○　本管にて閉止とする。	○　公設桝にてキャップ止めとする。
○　都市ガス設備	○　本管にて閉栓とする。	○　敷地内第１弁を閉としプラグ止めの上、埋設標示杭設置とする。

No.　25202	旧商工会館　解体工事	設 計 図　DR. NO.　M-01
DATE　R08. 05. 25	取りこわし特記仕様書（機械設備）	SCALE

株式会社　青　和　設　計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号
1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号
管理建築士　舘　山　良　子

撤去衛生機器表

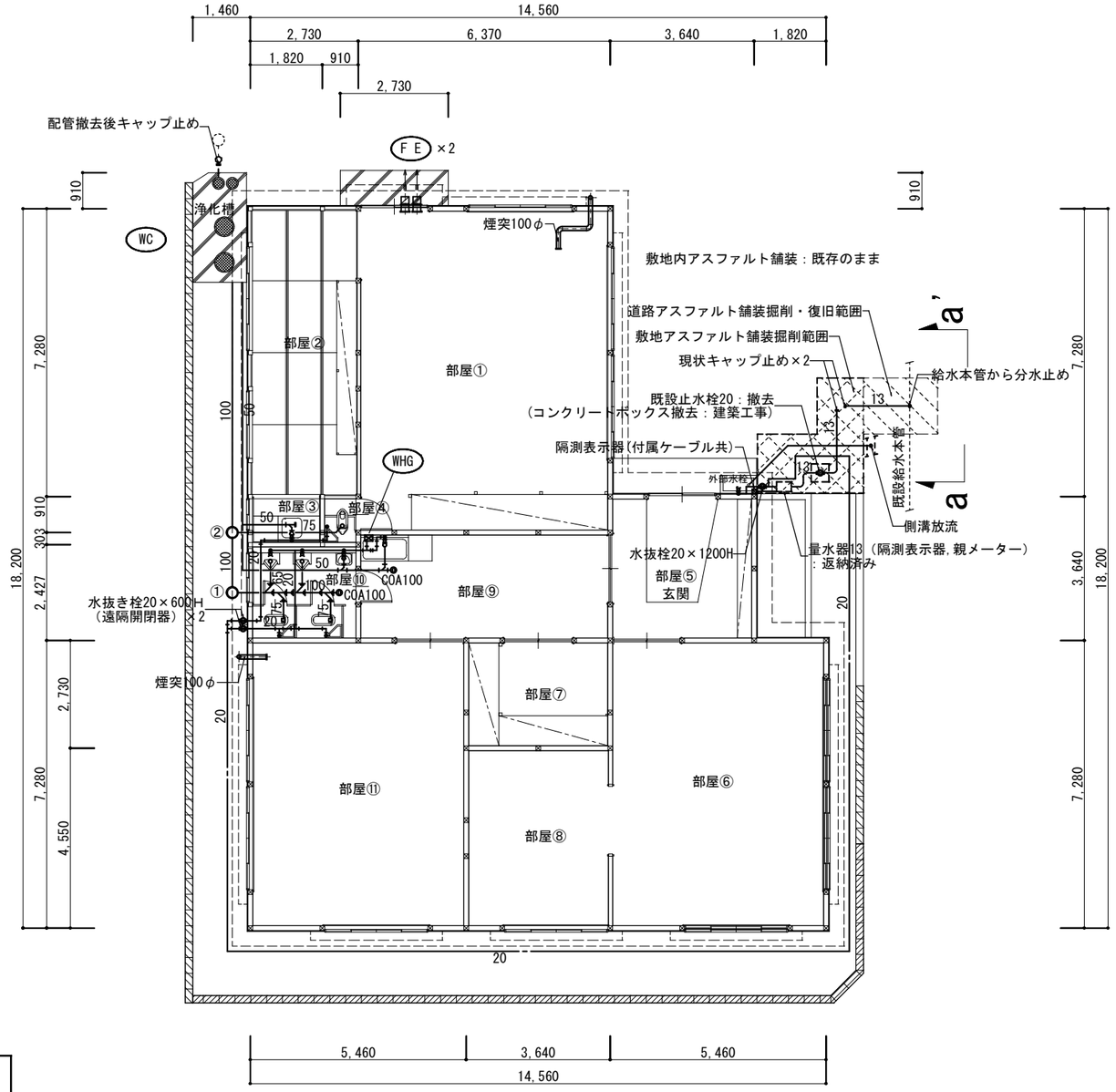
記号	機器名称	機器仕様	数量	設置場所	外形寸法(約W×D×H)	重量(約kg)	備考
W C	浄化槽	単独浄化槽：20人槽	1	屋外	2,800×1,360×2,100	400	槽滞水量：約4m3(汲み取り処分)
		コンクリート躯体、マンホール					
		ブロワーポンプ、他付属品共					
WHG	ガス湯沸器	屋内設置壁掛型　元止式	1	部屋⑨	300×150×500	10	
		給湯能力：5号					
		分岐水栓、SUS製フレキ、他付属品共					
F E	壁扇	壁扇30cm	2	部屋①	400×200×400	10	
		ウェザーカバー、他付属品共					

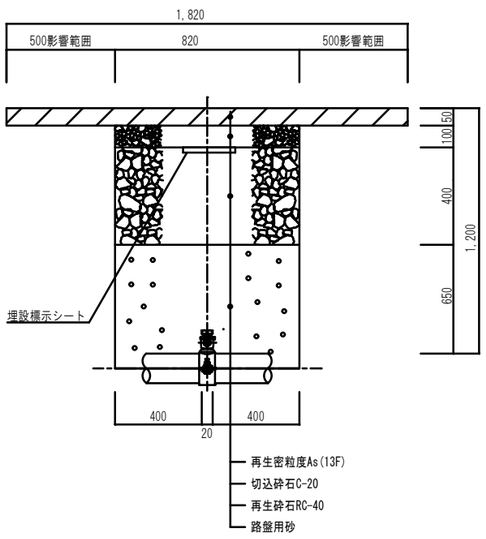
撤去衛生器具表

名称	仕様	便所	便所4	部屋3	部屋9	屋外	数量	外形寸法(W×D×H)	重量(kg)	備考
和風大便器	和風便器、隅付ロータンク、他付属品共	2	1				3	450× 800× 300	25	
小便器	床置小便器、フラッシュバルブ、他付属品共	2					2	500× 400× 800	15	
洗面器	洗面器、単水栓、他付属品共	1					1	400× 600× 300	10	
横水栓	自在水栓			1	1		2	200× 200× 150	1	
横水栓	靴洗い水栓					1	1	200× 200× 150	1	

撤去排水桝リスト　(勾配:1/100)

記号	名称	桝径	桝深さ	蓋仕様	備考
①	排水用小口径塩ビ桝	200φ	GL-300H	樹脂製蓋	
②	排水用小口径塩ビ桝	200φ	GL-310H	樹脂製蓋	

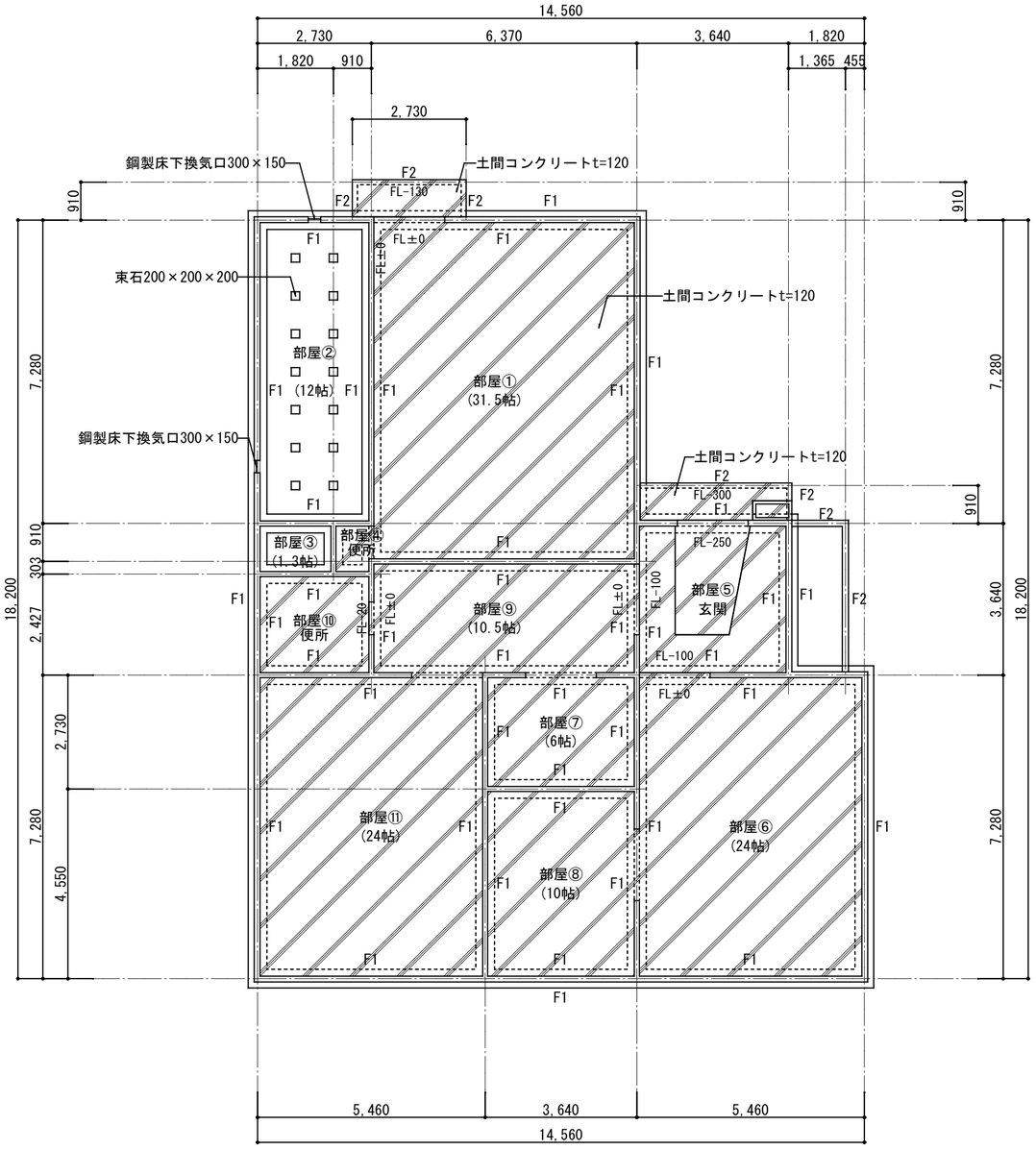




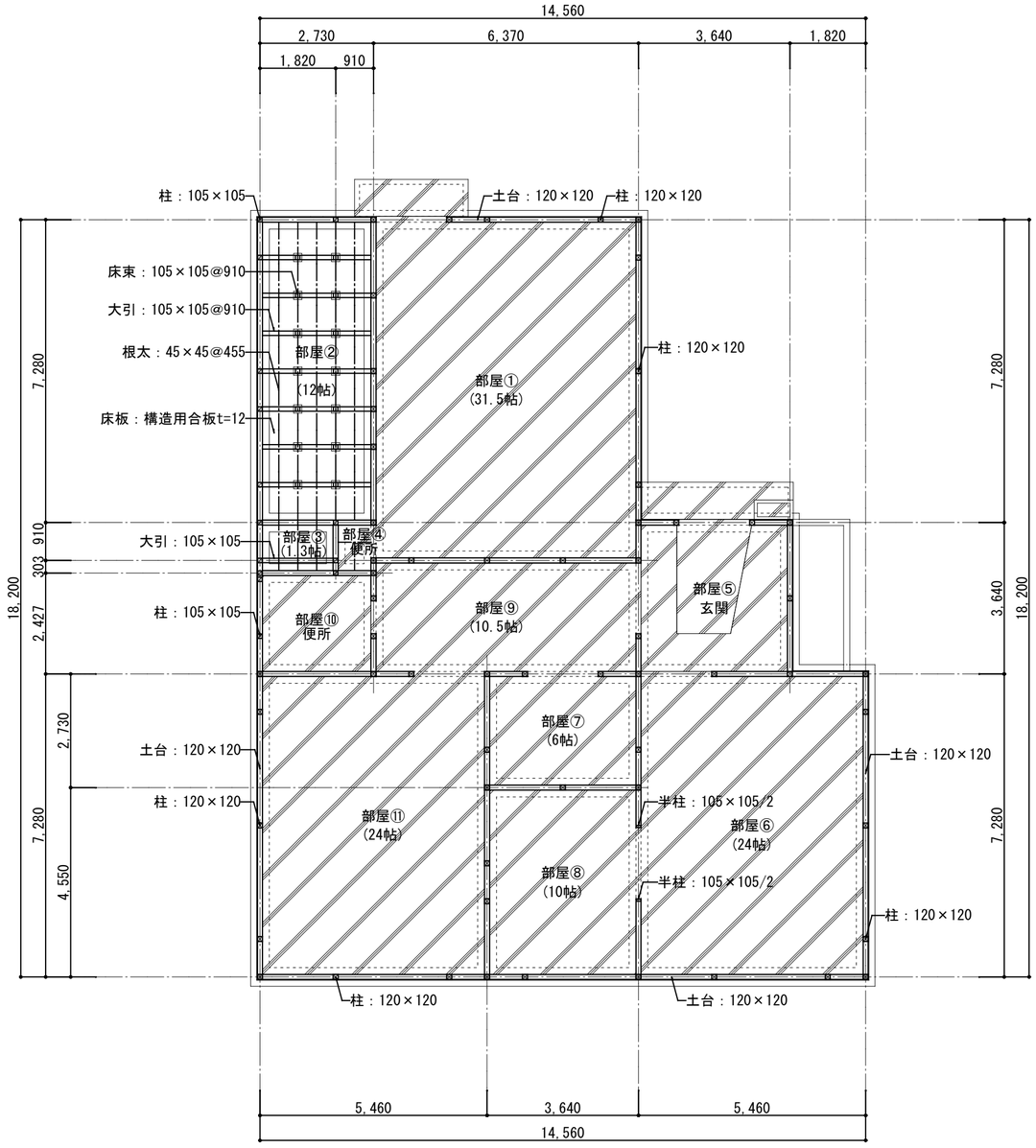
a～a'間 道路部分掘削・復旧断面図　S=N.S

No. 25202	旧商工会館　解体工事　　設計図 DR.NO. M-02
DATE R08.05.25	機械設備 平面図　　SCALE (A2)1/100

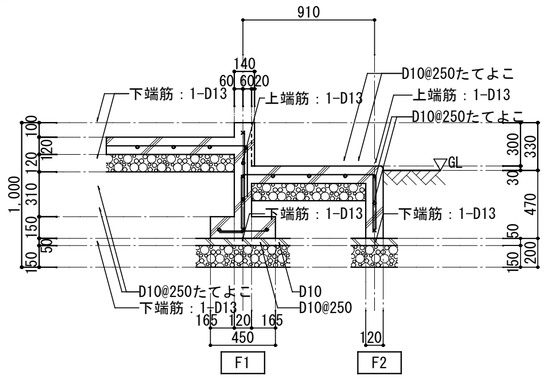
株式会社　青　和　設　計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号
1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号
管理建築士　舘　山　良　子



基礎伏図　1/100



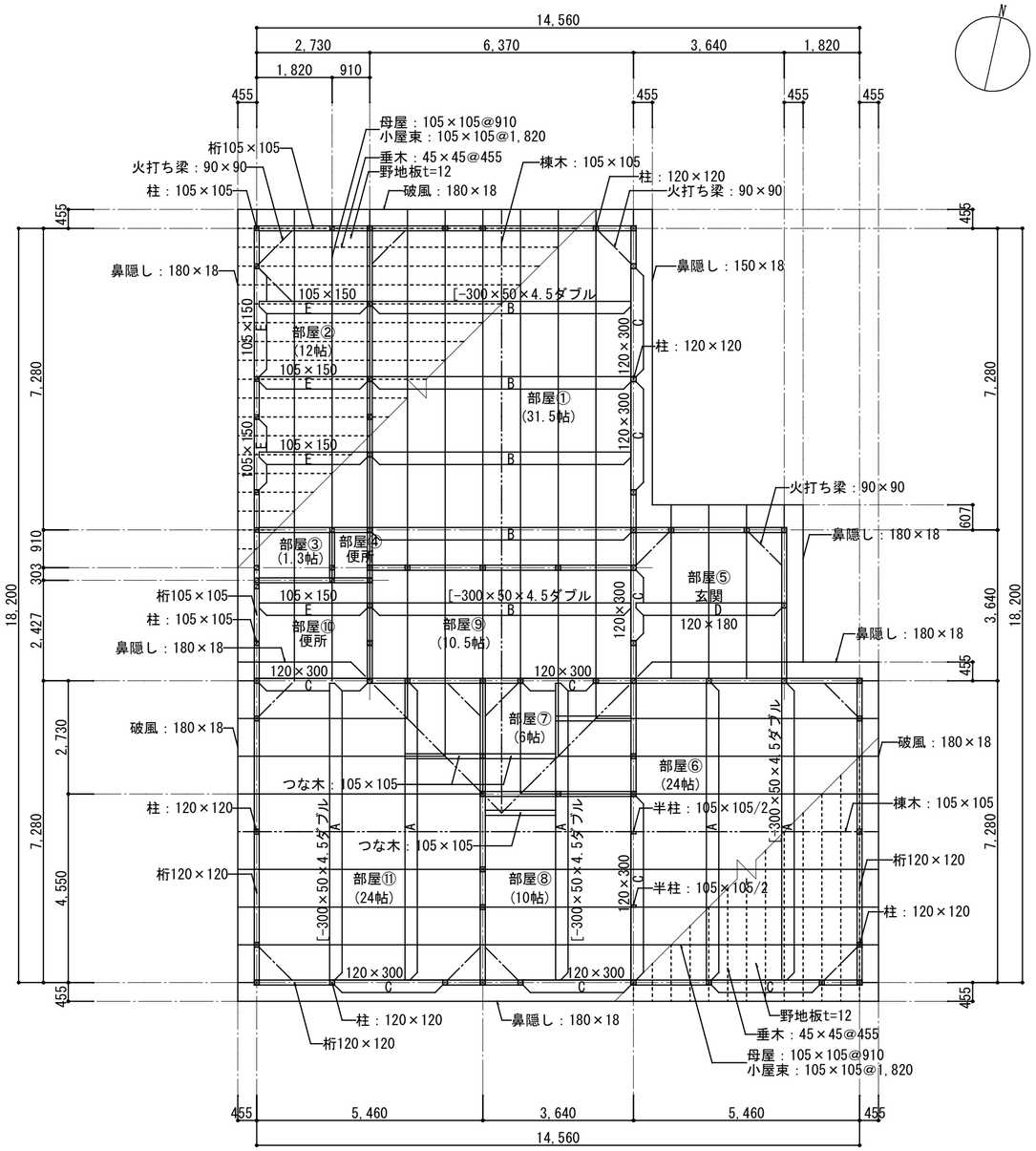
基礎伏図　1/100



基礎詳細図　1/30

No. 25202	旧商工会館　解体工事　　設計図 DR. NO. S-01
DATE R08.03.13	基礎伏図　床伏図　基礎詳細図　　SCALE (A2) 1/100　1/30

株式会社　青和設計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)
1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号
1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号
管理建築士　舘山良子



基礎伏図　1/100

No. 25202	旧商工会館　解体工事　設計図 DR. NO. S-02
DATE R08.03.13	小屋伏図　SCALE (A2)1/100
	館.案.
	株式会社　青和設計　青森県五所川原市字鎌谷町91番地20　TEL:0173(35)8331(代)
	1級建築士事務所　青森県知事登録　第604号 1級建築士　国土交通大臣登録　第249444号 管理建築士　館山良子